
未使用予定の案の溜まり場

有象無象の1人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

未使用予定の案の溜まり場

【Nコード】

N0315Y

【作者名】

有象無象の1人

【あらすじ】

作者が思いついたけど現状使う予定がないスキルや設定、キャラなどを不定期に乗せます。
使用するときはご一報お願いします。

スキル1（めだかボックス編）（前書き）

今回はめだかボックスのスキル編です

スキル1（めだかボックス編）

◇マイ・ベース予定調和

分類…異常

使用者の善意ある行動を阻止できなくする。
また、万が一阻止する障害が現れた場合は
その対象に対抗する事ができ、阻止ではなく拮抗となる。

◇アンフェア表裏一体 分類…過負荷

対象者を使用者と

…対等で同等で同位で平等で対であり同に…強制的に書き換える。
わかりやすく言えば対象者を自分の対の存在に強制的に書き換える。
使用者にスキルが無ければ対象のそれを消し、使用者に体力がなければ対象の体力を同等にし、使用者に戦闘経験がなければ対象の戦闘経験を無かったことにし、使用者の思考がバカなら対象者の思考もバカにするなど：etc。
ただし、表裏一体は相手に書き加えられない。
効果の解除は使用者の任意である。

◇リバイバル・カット強制縫合

分類…異常と過負荷の融合能力（仮名として特異）
一定の範囲にある全ての人や物などの傷を強制的に開き、瞬時にその傷を塞ぐ。

このスキルで塞がった傷は二度と開く事はなく、傷跡もない。

ドット・リカバリ
◇集中治療

分類…異常と過負荷の融合能力（仮名として特異）

指定した範囲の自然治癒能力を格段にあげるが範囲外の自然治癒能力を格段に下げる。

補足…異常と過負荷の融合能力（仮名として特異）。

この特異の設定として、異常や過負荷の能力に副作用をつけたらというif発想から生まれました。より強い能力があればその分強い副作用が生まれる、それでも異常と過負荷が混ざり合ったからこそ副作用さえも利用できる。こんなご都合主義的な考えです。

極端な例は、【何人にも止められなず神をも消滅させる力を出せる代わりに自分と相手の寿命を削る】

【自分と相手の寿命を削る代わりに何人にも止められなず神をも消滅させる力を相手に付与する】

前者は異常と過負荷の対比は7…3

後者は3…7

特異とは異常と過負荷の対比が片方が0ではないスキルという認識です。

スキル1（めだかボックス編）（後書き）

特異は作者オリジナル設定なので分かりづらいかもしれませんが。

思いついた当初は、

異常と過負荷があるならそれが混ざったのがあってもおかしくないんじゃないか？って感じでした。

スキル2（めだかボックス編）（前書き）

今回は3つ程のスキル紹介です。

スキル2（めだかボックス編）

◇メルト・ワールド有象無象

分類…異常

使用者を空間に溶け込ませ、存在を空間の一部とする。

ミスター・アンノンウンとはちがい、認識する事ができるが
まるで人混みの中に居て見つけれない状態になる。

使用者の事は覚えているのに、そこに居るのか居ないのかが分からなくなる。

◇マインド・キー土足な鍵屋

分類…異常 or 過負荷

異常の場合…ありとあらゆる閉ざされている事象や存在や心などを
全て開ける。能力の使用には対象の同意が必要となる。

過負荷の場合…異常とは逆で、ありとあらゆる開かれている事象や
存在や心などを全て閉じる。

能力の使用は強制で、強制した場合は使用者も対象者と同じく指定
した何かが閉ざされる

○特異

異常寄りの場合…ありとあらゆる閉ざされている事象や存在や心な
どを全て開ける。能力の使用に制約は無いが、対象は無差別となり、
解放するものもランダムである。

○特異

過負荷寄りの場合…異常とは逆で、ありとあらゆる開かれている事象や存在や心などを全て閉じる。

能力の使用は承認と強制の二つであるが、強制した場合は使用者も自分の開かれているものの任意で選び閉じる。

○ゴースト・ウエブ希求聞所

分類…異常

任意の対象に念話のような方法で話しかけることができる。
場所や状況、距離などは関係ない。能力での会話中は、相手も発言することができる。

スキル2（めだかボックス編）（後書き）

ではまたの機会に

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0315y/>

未使用予定の案の溜まり場

2011年11月2日14時10分発行